セッション2: 大気から陸面へ, 陸面から大気へのインパクト

樋口篤志

(千葉大・CEReS)

セッションコンビーナ

第二回 沼口敦さん記念シンポジウム

「水循環環境科学のアプローチ」

このセッションの目的

- いわゆる大気－陸面相互作用
 - であるが，一方向が多い(ような気がする)
- 様々な時空間スケール(global, meso, 地点観測)
 - セッション1との関連:
- 観測(地点・衛星), モデル, 降水過程
 - 様々な視点が必要. インターフェイスとしてのABL
- まだ人類が生活できる場所の殆どが陸上
 - 社会的観点からもきわめて重要

講演者

- 樋口(千葉大・CEReS)
 - 衛星計測の観点から見た大気―陸面相互作用
- 山田広幸さん(海洋研究開発機構・地球環境観測研究センター)
 - メソ系から見た大気―陸面相互作用(チベット高原を例に)
- 田中賢治さん(京大・防災研)
 - 湿潤域でのモデリング(地表面過程モデルの観点)
- 檜山哲哉さん(名大・HyARC)
 - 観測的視点(+様々な時空間スケール別に見た大気陸面相互作用)